



3月 ピッコロだより



月	火	水	木	金	土
【中学生の活動】 3月 8日 からだを動かそう 3月22日 Thanks カード を作ろう!					1 買い物活動
3 ルールを守ろう	4 ルールを守ろう	5 ありがとうを 伝えよう	6 買い物活動	7 ルールを守ろう	8 みつばち プロジェクト からだを動かそう
10 ありがとうを 伝えよう	11 ありがとうを 伝えよう	12 からだを動かそう	13 ルールを守ろう	14 ありがとうを 伝えよう	15 ルールを守ろう
17 買い物活動	18 一年間を 振り返ろう 	19 一年間を 振り返ろう 	20 春分の日 	21 一年間を 振り返ろう 	22 ありがとうを 伝えよう
24 一年間を 振り返ろう 	25 リトミック	26 リトミック	27 一年間を 振り返ろう 	28 リトミック	29 クッキング (お好み焼き)

31
避難訓練
(水害・津波)

※専門職の来所予定日

公認心理師(松本)： 15日(土)、27日(木)

言語聴覚士(永山)： 5日(水)、7日(金)、10日(月)、13日(木)、19日(水)、25日(火)、
29日(土)

理学療法士(樋口)： 1日(土)、6日(木)、12日(水)、17日(月)、24日(月)

作業療法士(大平)： 4日(火)、14日(金)、26日(水)、31日(月)

(今月の主な活動)

《ありがとうを伝えよう》

- ・友だちへありがとうのメッセージカードを書き、日頃の感謝の気持ちを伝えます。メッセージカードを受け取ることで、やりとりを通して友だちや自分自身の良い所を知り自己肯定感を高めることにつながります。

《一年間を振り返ろう》

- ・思い出を振り返り、できるようになったことやがんばったことを絵や文章で表現し相手に伝えます。また、成長した自分に気づくことで次のステップへ希望を持って進級する気持ちを高めます。

★お知らせとお願い★

・登園時間は、平日 16 時 20 分まで、土曜日(午前)10 時 20 分まで、(午後)13 時 50 分までをお願いします。
・お迎えは、平日 17 時 20 分～18 時の間、土曜日(午前)11 時 50 分～12 時 10 分の間、(午後)15 時 20 分～15 時 40 分の間をお願い致します。また、お迎えの際は 引き継ぎ 20 分前に番号札を準備しますので、来所された順に取ってお待ちいただき、引継ぎ開始時間になりましたらインターホンにてお知らせください。

【欠席連絡について】

・平日は16時以降、土曜日(午前)当日9時30分以降、(午後)13時以降の欠席連絡となりますと、おやつ代(¥70/日)をご負担頂きますので、ご了承ください。また、当日のキャンセル連絡はコドモンではなく、お電話で連絡下さい。
・3月20日(木)の祝日、9時から12時の時間で事業所を開所いたします。ご希望の方はピッコロ職員までお知らせください。(ご希望が多い際はご利用が難しいこともありますので、ご了承ください。)



ほんわかと春の気配が感じられるようになりました。こどもたちもうすく新しい春を迎えますね。

さて、皆さんは「桜島」と聞いて、どのような姿を思い浮かべますか？桜島は、薩摩半島から見るのと大隅半島から見るのとでは、その姿が異なりますよね。煙が立ちのぼる位置も違います。

私は先日、飛行機の上から桜島を見たとき、いつも見ている桜島とはまるで別の山のように見えて驚きました。同じ桜島でも、見る場所や角度によってまったく違う印象を受けるものなのですね。桜島を見ながら、さまざまなこどもたちの顔が浮かんできました。こどもたちも私たちの目の前にいるこどもの姿と、別の場所でのこどもの姿では違っていることがあります。こどもたちは、家庭、幼稚園や保育園、学校、事業所、習い事の間、公園など、さまざまな環境の中で過ごしています。私たちが目にするこどもの姿だけが、その子の「すべて」ではないことを、大人は理解しておく必要があります。たとえば、保育園ではとてもやんちゃなこどもが、私たちの事業所では落ち着いて過ごしているという話をよく耳にします。こどもたちは、周りの環境や関わる大人によって、自分の「ふるまい」を変えているのです。どのような「ふるまい」も、そのこどもであることには変わりありません。さらに、その「ふるまい」とこどもの「想い」が必ずしも一致していないこともあります。たとえば、事業所では小さいこども達にやさしいA君が、家ではお母さんに反発して困っているという話を聞くと、どうしてお母さんにだけ反発するのかな、「もっと自分を見てほしい」という気持ちの表れなのかな、あるいは自分でもどうふるまえばいいのか分からず、一番の理解者であり大好きなお母さんに対して「反発」という形で気持ちを表しているのかななどと考えます。

私たち大人は、環境を自分で選んだり整えたりすることができます。しかし、それが難しいこどもたちには、私たち大人が環境を整え、どのような姿であっても理解をする努力が必要ですね。こどもたちがどの場所においても、自分の持っている力を十分に発揮できるように。そんな思いで、さまざまな角度からこどもたちの素敵なところを探し、ご家族の皆様と一緒に探していきたいと桜島を眺めながら考えました。

今年度もたくさんのご協力とご理解に感謝いたします。



児童通所部門 総括園長 水流 かおる

